

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 (問題点)日常的な生活場面において、具体的な「外出したい」という要望にタイムリーに応え切れていない。 (課題)物理的な開放感にとどまらず心理的な拘束感軽減する。 | 玄関扉の電子ロック解除(時間的な制限はある) | 身体拘束について職員の多角的理解を深める (定例会議などでの議論) 運営推進会議・家族会合・併設施設と野連絡会を通じて、議論の範囲を拡大し、理解を得る 人員配置状況にあわせたロック解除時間を設定し試行する 合わせて、外出行事の内容を再検討する | 6ヶ月 |
| 2 | 10 11 | 短期間に管理者が交代したことに対する、運営上の不安がご家族や職員の間にある | 運営に関するご家族・職員の意見反映がスムーズに行われ相互の信頼関係が、築ける | 上記取り組みを実践する中で、ご家族及び職員との目標達成意を意識した、面談、意見交換を行う。 毎月管理者からのお便りを、家族に発信する | 12ヶ月 |
| 3 | 23 | 利用者の状況・生活歴などの記録が不徹底 ご家族とのケアプラン共通認識に不備がある | 利用者の「ライフストーリー」・施設内生活状況及び生活援助の視点をご家族と職員が共有できる | 法人全体で介護記録のパソコン管理が整備されることを機会に記録様式の統一と、内容再点検及びご家族との総合検討を行う 個別カンファレンスには極力ご家族の出席を依頼する | 8ヶ月 |
| 4 | 35 | 防災対策について「実感」が伴っていない | 年間2回以上の防災訓練実施 職員が、防災関連施設設備の理解を深める 防災設備備品などの充実 | 併設施設との防災関係の連携強化(法人全体の防災委員会への積極的参加) 会議などでの防災関連情報の確認徹底と訓練実施 | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。